



市川市立妙典中学校だより 12月号

# 息吹 03



学校教育目標 未来を拓く妙典中学生 ~明るく・正しく・美しく~

〇ふれあいを大切にする生徒 〇進んで学ぶ生徒 〇頑張り抜く生徒 令和3年12月23日

〔表題「息吹」は、妙典中校歌、2番の歌詞「♪~世界の息吹うけとめて、生きる力を身につけん♪」から付けました。「03」は令和3年度を表しています。生きる力を身に付け、未来を拓く妙典中学生の育成を目指します。〕

## 2学期終業式にて



2学期終業式で、こんな話をしました。

今日で2学期が終了、そして今年もあと数日になりました。今年一年の出来事を振り返ると、夏場のコロナ感染者数急増や次々に現れる変異株など、心配なニュース、暗い出来事もりましたが、今年の漢字「金」に象徴される、東京オリンピック・パラリンピックでの金メダルラッシュや、CO<sub>2</sub>の地球温暖化への影響を実証した眞鍋叔郎博士のノーベル物理学賞受賞など、明るいニュースもたくさんありました。

アメリカメジャーリーグ、エンゼルスの大谷翔平選手の投打二刀流での大活躍、MVP受賞もそのひとつです。私も大谷選手の大ファンで今年はずっと彼の活躍に心躍らせる日々でした。知っている人も多いと思いますが、大谷選手は野球の実績がすごいだけでなく、その考え方や行動が非常に素晴らしいことでも有名です。

シーズン終了後のインタビューで、「メンタルをどのように整えていたか。落ち込むことはあるのか、また、愚痴など言うことはないのか」と聞かれ、大谷選手は「もちろん落ち込むことはあります。でも毎日、今日はここが良かったな、ここが悪かったなっていうのが、出てくるっていうことは幸せなこと、落ち込むことも含めて、いい1年だったなと思っています」と答えています。

また、ケガで思うような結果が出なかった昨シーズンまでに触れ、「うまくいかないことも多かった中、その度に立ち上がる原動力となったものは何か」と聞かれ、「ファンの存在」とともに「自分がこうなりたいと思った目標」と、「それを諦めきれない気持ち」があったことを挙げています。

さて皆さん。今年一年を振り返ってみてください。うまくいったこともあったと思いますが、失敗したり思い通りの結果が出なかったりしたこともたくさんあったのではないのでしょうか。私も今までたくさん失敗してきましたし、失敗すればやっぱり落ち込みます。でも「失敗することで一つ自分は成長したんだ。その失敗は目標に近づくために必要な体験だったんだ」と思えることが大切なんだと、大谷選手の言葉を聞いて、改めて感じます。そして…もうすぐ新年、2022年が始まります。新しい年を迎えるにあたって「自分がこうなりたいと思う目標」を、是非じっくり考えてください。目標がしっかり定まることで、どんなにうまくいかないときでも、「諦めきれない」という思いが芽生え、それが地道な努力を継続する原動力になるのだと思います。



明日から13日間の冬休みに入ります。この休み中、感染症対策や交通事故など、自分で自分を守る意識をしっかり持って、有意義に過ごしてください。1月6日に元気に会えることを楽しみにしています。

## 校外学習に行ってきました

11月30日(火)に1年生が、12月2日(木)に2年生が校外学習に行ってきました。両日ともよく晴れて、この時期としては暖かく絶好の校外学習日和でした。

1年生は、事前学習「ディズニーアカデミー」で学んだ「相手の立場に立ち、自ら行動する」という「おもてなしの心」を、キャストの実践から実際に確認し、これからの学校生活や「働くこと」の意識に繋げるべく、「東京ディズニーシー」を事前の計画に従って班別に巡りました。平日でもやはり来場者が多く、どの班もなかなか計画通り進みませんでしたが、臨機応変に対応し、積極的にキャストにインタビューするなどしていました。異国を訪れたような素晴らしい景観やアトラクションを楽しみながらも、学習の意識をしっかりと持って一日過ごすことができました。



2年生は、SDGsについて時間をかけて事前学習した上で、持続可能な未来の実現に向けた様々な取組を行っている「木更津クルックフィールズ」で、サステナブルな取組を、五感の全てで実感しました。半日は班で協力してウオークラリーにチャレンジ。広大な敷地に散在しているチェックポイントを、地図を見ながら見つけ出し、そこに書いてある問題で人と自然の共生について楽しみながら学びました。もう半日は農業体験。スタッフの有機農法についての楽しく分かりやすい説明を聞き、実際に畑からサツマイモを収穫しました。土の中から出てきた虫に悲鳴を上げ、手を真っ黒にしなが、いろいろな大きさや形の芋を自分の手で掘り出す楽しさに夢中になりました。昼食は地元でとれたイノシシの肉を使ったキーマカレーを、青空の下でおいしく楽しくいただきました。



## 部活動 大会等の記録

※作文・標語・作品展等の表彰は、次号で紹介しします



- 吹奏楽部 日本管楽合奏コンテスト全国大会  
千葉県アンサンブルコンテスト西部地区大会
- 卓球部 市川浦安支部秋季卓球大会
- 陸上部 市川浦安支部長距離記録会  
兼 千葉県中学校新人駅伝予選会
- 剣道部 市川市浦安市中学校新人剣道錬成大会
- バドミントン部 市民体育大会バドミントン競技
- 男子バレー部 市川・浦安支部秋季新人大会代替大会
- ソフトテニス部 市川市・浦安市中学校ソフトテニス1年生大会
- 文芸部 全国硬筆コンクール

中学校B部門 優秀賞  
中学校金管打楽器の部 金管八重奏 金賞 打楽器八重奏 金賞 木管の部 地区代表  
男子シングルス 第9位 女子シングルス 第9位  
男子個人の部 第5位 女子個人の部 第2位  
男子総合 第4位 女子総合 第2位  
男子団体 第3位 (県大会出場) 女子団体 準優勝 (県大会出場)  
男子団体 第3位 女子団体 第3位  
女子シングルス 第3位 (県大会出場) 第3位 第5位2人  
第3位  
男子個人の部 第5位2組 女子個人の部 第5位 (県大会出場)  
優秀特選1名 特選2名 金賞3名 銀賞3名 銅賞2名

## みのり学級学習発表会

12月14日(火)に、みのり学級の学習発表会が行徳文化ホール1&1で行われました。例年は特別支援学級を設置している市川市南部の小中学校12校が合同で、普段の学習の成果を披露する合同学習発表会ですが、今年は感染対策のためそれぞれ小規模で行うことになり、本校は塩焼小学校(さざなみ学級)と2校で行いました。

前半に発表したさざなみ学級は小学生らしく、楽しそうに楽器演奏やフラフープ、豆知識紹介など工夫を凝らした発表を見せてくれました。20人以上の児童がみんなで一斉懸命歌った合唱には心が温かくなりました。来年度、何人かが妙典中学校に入学してくれるようです。

後半はよいよ、みのり学級の出番。息ぴったりのダンス、しみじみした箏の演奏、PCを駆使した「ゴジラの歴史」のプレゼン…進行も含めて一人何役もこなし、人数の少なさを感じさせない素晴らしい発表でした。「さすが中学生!」と小学校の関係者をはじめ、見に来ていた人みんなが感心していました。最後の合唱は合唱祭の時と同様、みんながしっかり声を出し、心に響くハーモニーを作り上げました。何週間も前から準備と練習を積み重ねてきた成果を存分に発揮することができて、みのり学級のみんなは、とても満足そうな表情。先生方と保護者の皆さんは大感動でした。



## 地域学校協働本部

12月14日(火)に、地域学校協働本部の会合が、本校で行われました。地域学校協働本部とは、中学校ブロック単位に設置する、“地域にある学校応援団”です。市川市教育委員会の委嘱を受けた地域学校協働活動推進委員(通称:学校支援コーディネーター)が中心となり、学校のニーズに合わせて、地域のネットワークを活用して様々な教育活動や地域活動をサポートする、いわば「地域と学校のパイプ役」を担う機能を果たすものです。



対面での会合を自粛せざるを得ない状況の中、なかなか開催できずにいた妙典中ブロック(妙典中、塩焼小、妙典小、幸小、塩焼幼稚園)地域学校協働本部の会合ですが、10月8日(金)に、第1回を開催することができました。この日は、ブロック校長会代表の妙典小校長、本校の校長・教頭・地域連携主任、市教委学校地域連携推進課の担当職員が同席し、各学校・園2名の学校支援コーディネーターが集まって各校・園の取組を紹介し合うなどしました。今回行った第2回の会合では、今後の具体的な活動が協議され、様々なアイデアを出し合う中、「できることから、まずスタートしよう」ということで、地域のコミュニティーカレンダーの作成などについて検討されました。委員の皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

## 校長室より…

登校の時間帯、できるだけ校門に立って生徒たちを出迎えるようにしています。一人で自分のペースで登校してくる生徒も多いですが、友達やきょうだいと二人で、あるいはいつも決まったメンバーのグループで楽しそうに登校してくる人たちもいます。ニコニコしている人、無表情の人、眠そうな人、息を切らして駆け込んでくる人、いろいろな人がいて、同じ人でも日によって表情が変わったりして…穏やかな晴天の日も、大雨の日も、猛暑の季節も、凍える寒さの日も、そんな中学生たちと挨拶を交わしながら、一日がスタートできて幸せです。

挨拶も人それぞれです。すごく素敵な笑顔で自分から「おはようございます!」と言ってくれる人もいれば、こちらからの「おはよう」に、小さな声で何とか応えてくれる人もいます。でもいいのです。朝から気分爽快で、またはそうじゃなくても気持ちをコントロールしてしっかり挨拶できればそれが一番いいのですが、体調や心の状態が万全ではなかったり、人と目を合わせて言葉を交わすのが今のところ苦手、という人もいるでしょう。そんな中、その人なりの、その日の精一杯の「おはようございます」は、どれもみんな貴重なものと感じます。

校門の内外には、いつも色とりどりの花々が咲いていて、さりげなく飾られた七夕やハロウィンなど季節ごとの飾りつけも、登校する子供たちを楽しませています。保護者有志「お花壇の会」の方々を整えてくださっているものです。今はクリスマスの装飾とサンタさんの笑顔が、子供たちを毎朝出迎えています。

